

校内研修計画

日下部小学校

1. 学校課題

- ・平成30年度に、6年生で「全国学力学習状況調査」、3・5年生で「山梨県学把握調査」2・4年生で「標準学力検査CRT」（何れも国語・算数の2教科）を行った結果、本校は、国語が平均とほぼ同じ、算数が平均よりやや劣っていた。このことから、特に算数において、「基礎的な知識及び技能の習得」や「知識及び技能を活用する力（思考力、判断力、表現力）の育成」がやや不十分であるという結果が明らかになった。
- ・過去5年間、「望ましい学級集団」へと集団を高める取り組みを進めてきたこともあり、学習・生活両面において、児童自らが学級集団を高めようという気風が育ちつつある。

2. 研究主題 「確かな学力」を身につけさせる学習指導の研究

副主題 ～「学級力」を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して～

3. 主題設定の理由

学校課題は、ここ数年、上記のような状態が続いており、そのような実態の改善を図るため、昨年度は、「『確かな学力』を身につけさせる学習指導の研究」を研究主題、「『学級力』を高め、主体的・対話的で深い学びの実現による授業改善を通して」を副主題として研究を行ってきた。

過去5年間、山梨市立の小学校では、自分たちの学級を自分たちで良くしていくために、スマイルアクション（具体的活動）を決めて取り組み、その成果を検証する「学級力向上プロジェクト」に取り組んできた。「主体的・対話的で深い学び」をつくりだすための素地となる「認め合い、高め合える、望ましい学級集団」を目指し、本校においても、それぞれの学級で一定の成果を残すことができた。

一方、高まりを目指す学級力を背景に、過去2年間、「主体的・対話的で深い学び」の実現を副主題に掲げ、授業研究や1人1実践を軸に研究を進めてきた。従来から授業力の向上のために職員集団が取り組んできた実践や成果を、「主体的・対話的で深い学び」という視点で捉え直し、その延長線として、より一層の追究・充実を図ってきた。

特に昨年度は、山梨県教育委員会より「主体的・対話的で深い学び推進事業 推進校」の指定（3年間）を受け、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた研究の機会をいただいた。指定1年目の昨年度は、研究教科を算数科に絞って実践研究を進め、「主体的・対話的で深い学び」のイメージを職員で共有することができた。その一方で、理論研究を十分に行う時間が確保できなかったため、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための手立ての類型化を念頭において授業実践を行ってきたが、類型化するまでには至らなかった点が課題として残された。

上記のような実態を受け、指定2年目の今年度も、昨年度からの研究の継続を重視し、再度、算数科を研究教科とし、上記の研究主題に取り組むこととした。昨年度までの研究で定着しつつある「学級力向上の取組」を土台に、「主体的・対話的で深い学び」に向けた研究を推し進めることで、両者の有機的な絡み合いや、相乗効果を図り、「主体的・対話的で深い学び」の更なる追究・充実を図っていききたい。そして上記、本校の課題を解決し、ひいては学校教育目標「自ら学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成」の具現化を目指したい。

4. 具体的な取組内容

【学級力向上プロジェクトの実践】

- 「自分たちの学級を自分たちで良くしようとする自治的な資質・能力」を育むために必要な指導法の検討
 - ・互いに認め合い、高め合い、安心して学習や学校生活を送ることができるような居心地の良い学級集団・学習集団づくり
 - ・学級力向上プロジェクトの全校統一の実施（取り組み回数、年3回以上）
 - ・「学級力向上プロジェクト」校内実践報告会による、職員間の交流学習会の実施

【算数科における学習・指導法の工夫と、その授業実践】

- 「主体的に学習に取り組む資質」を育むために必要な学習・指導法の検討
 - ・課題設定の工夫（教材・教具・提示方法・発問）
 - ・毎時間の振り返り活動の充実と、その評価の充実（振り返り活動の全校統一モデルの策定）
- 「自らの考えを他者と交流することで、自らの考えを広めたり深めたりする資質・能力」を育むために必要な学習・指導法の検討
 - ・算数科の特質に応じた言語活動の充実（「算数言葉」の定着）
 - ・対話につなげるための指導言・評価言の工夫（系統的、統一的モデルの作成）
 - ・学習形態の工夫（ペア・グループ・全体）（話し合い・討論・発表会など）
 - ・互いに認め合い、高め合い、安心して学習することができる学級集団・学習集団づくり
- 「数学的な『見方・考え方』を働かせる資質・能力」を鍛える学習・指導法の検討
 - ・算数科の特質に応じた言語活動の充実（「算数言葉」の定着）
 - ・思考の活性化や深化を促す指導言・評価言の工夫（系統的、統一的モデルの作成）
 - ・外部講師招聘、書籍資料、先進校視察等による学習会の開催
 - ・先行実践の追実践・模擬授業
 - ・板書やノートのシステム化（全校統一モデルの策定）

5. 年間研修計画

時期	研究活動	内 容
4月 4日	・校内研究会①	・研究の方向性についての話し合い
4月10日	・校内研究会②	・研究主題・研究内容・研究組織・研究計画・授業者決定
4月26日	・校内研究会③	・研究の方向性についての学習会 （峡東教育事務所 中村指導主事）
5月15日	・校内研究会④	・「算数科における学習・指導法」についての学習会
6月 5日	・校内研究会⑤	・ブロック別研究
6月21日	・拡大校内研究会①校内研究会⑥	・指導案検討（山梨大 清水准教授招聘予定）
6/27(木)	・拡大校内研究会②（校内研究会⑦）	・研究授業と研究会（5年：佐野理恵教諭） （山梨大 清水准教授招聘予定）
8月21日	・校内研究会⑧	・全国学力・学習状況調査質問紙の分析
9月 4日	・校内研究会⑨	・特別支援教育学習会
10月 2日	・校内研究会⑩	・ブロック別研究
10月 9日	・拡大校内研究会③（校内研究会⑪）	・指導案検討（山梨大 清水准教授招聘予定）
10月23日	・校内研究会⑫	・ブロック別研究
10/25(金)	・拡大校内研究会④（校内研⑬）	・研究授業と研究会（1年：武藤有希教諭） （山梨大 清水准教授招聘予定）
11月13日	・校内研究会⑭	・2本の研究授業の振り返り
12月 4日	・校内研究会⑮	・学級力プロジェクト実践報告会
1月22日	・校内研究会⑯	・1人1実践報告会
1月29日	・校内研究会⑰	・1年間の研究の成果と反省